



蒲郡商店街振興組合



キャッチフレーズ

商店街が異空間に

事業実施の背景

蒲郡商店街は、JR蒲郡駅周辺の7つの発展会で組織する商店街で、蒲郡市の中心市街地の一角をなしているが、大型店の郊外出店やマイカーの普及などにより、売上・加盟店ともに減少し、街区の空洞化が進行している。

このため、平成16年度より中心市街地活性化事業の一環として、中央通商店街に程近い「福寿稲荷」にあやかした新たなイベント「福寿稲荷ごりやく市」を開催し、商店街への人集めに努めている。

事業の概要

福寿稲荷ごりやく市



<福寿稲荷ごりやく市の様子>

蒲郡商店街のうち、中央通り、西町薬證寺周辺を歩行者天国にし、年間6回(3,4,5,9,10,11月)市内外の商業者を集めたカラフルなテント市を開催。歩行者天国に面していない蒲郡商店街の出店も合わせ、毎回50~60店が立ち並ぶ他、店頭セールも行われる。毎回、食べる・見る・買うのバランスや、同業者同士が並ばないようにするなど、出店構成や配置に気を配っている。



蒲郡市

また、大道芸や地元和太鼓集団「海燕」、地元バンド「キッチンガールズ」などのパフォーマンスが行われる他、商売繁盛・金運良好の神として信仰を集める福寿稲荷で御祈祷した「ごりやく」つきの宝くじや、商店街のサービス券を入れた「福投げ」を実施。さらに通り沿いに木彫りのお稲荷様と賽銭箱を設置し、普段とは違う「異空間」を商店街に作り出している。



<ストリートパフォーマンス>

ごりやく市開催中には、市内の幼稚園や小学校の子どもたちの絵を店頭飾りつけ、商店街の店の中まで入り、店舗を回ってもらう工夫をしている他、子ども向けのゲームテントを用意し、地元小学生や親子連れを呼び込んでいる。

事業の効果

- ・ 蒲郡市の中心市街地活性化事業に位置づけられる本事業は、平成 16 年度から、年間 6 回行っていることから市民にも定着し、毎回 5,000～6,000 人近く来場している。
- ・ テント市には毎回、蒲郡商店街の組合員も出店。普段は店の奥に足を踏み入れにくくても、テント市では気軽に商品を見ることができると、最近ではテントに固定客がつき、イベント終了後の個店の売り上げに結び付けている店もある。
- ・ 空き店舗が 3 店舗埋った。

事業の課題

- ・ 午前中は盛況だが、午後、イベントが終わりに近づくと帰ってしまう人が多い。イベント終了まで、できるだけ長い時間楽しんでもらうこと。
- ・ 現在は商店主が、イベント時に各テントのお世話をしているが、今後は出店者にまかせて、商店主はイベント中、自分の店で商売ができるようにすること。

蒲郡商店街振興組合

所在地：蒲郡市（JR 蒲郡駅北西）

問合せ先：理事長 武田辰美

電話（0533）68-3567

URL：<http://www.sangyou.nrc.gamagoriaichi.jp/gamag/>

蒲郡市元気商店街（がまぐねっと）

